

**求む！
目撃情報**

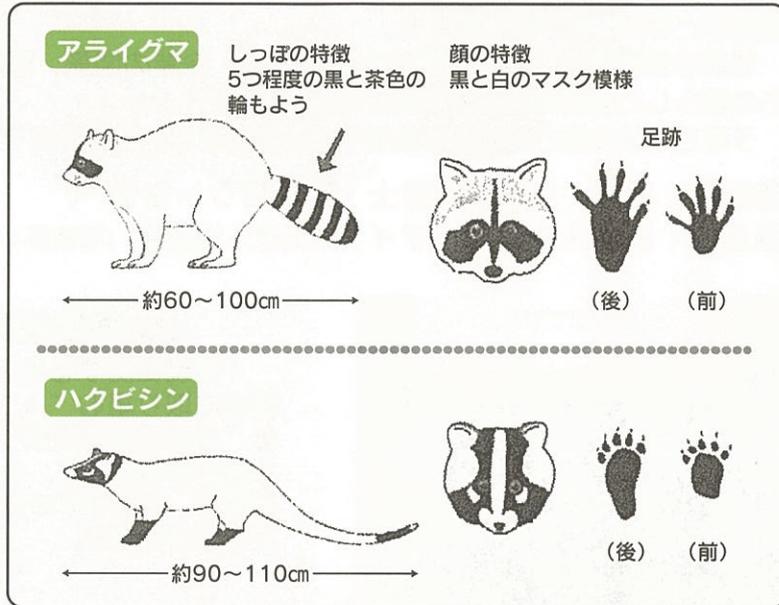
アライグマ、ハクビシンの現況把握調査実施中

アライグマ、ハクビシンを見かけたら環境課へご連絡ください

電話 042-551-1718

もともとペットとして輸入された北米原産のアライグマ。今では日本各地で野生化し、さまざまな被害をもたらす「特定外来生物※」に指定されています。最近、西多摩地域においてもアライグマの生息情報に加え、農作物や生態系への被害情報が増えつつあります。このため、市では都やNPO法人と協働して対策に取り組んでいます。アライグマだけでなく、ハクビシンの目撃、痕跡、被害情報もありませんでしたらご連絡ください。

※外来生物法で特定外来生物に指定された種は、輸入、飼養等は原則禁止、野外へ放つことは禁止されています。



野生のアライグマが増えるとどうなるの？！

建造物被害
家屋へ侵入して繁殖
・爪で柱や壁に傷をつける
・天井裏で子育てや、ため糞をする

在来生態系への影響
在来小動物の捕食
・日本固有種のトウキョウサンショウウオの卵を食べてしまう
・タヌキやアナグマに対する影響も懸念される

人への直接的な被害
噛みつく、引っかく
・人獣共通感染症
(※北米では狂犬病の主要媒介となっているほか、アライグマ回虫症の発生も報告されています。これらの予防のため、野生化したアライグマとの接触は避けることが大切です。)

農業、水産業被害
農作物等を食べる
・畑のトウモロコシ、スイカ、果物等が荒らされる
・養魚場のニジマス、ヤマメ等を食べてしまう

編集後記

◆縁あって市民編集員となった。かんきょう通信作成に参加し知ることが多く、自身の学びにもなっている。今号では市のLAS-Eの第2ステージ合格について掲載しており、普段知ることのできない市の取り組みについて知ることができる。今後市民編集委員として環境について解りやすく発信していきたいと思う。(M.N)

平成26年2月 発行 第35号
発行：かんきょう通信市民編集部
事務局：福生市役所環境課
TEL.042-551-1718(直通)
メールアドレス f-kankyo@city.fussa.tokyo.jp

資源有効利用のため本紙は再生紙を使用しています
この印刷物は環境にやさしい「植物油インク」を使用しています。

市民編集員 清水貞夫・石川恵万・エボエリコ・田中俊朗
中西真実・向出香苗

◆市民編集員募集中!! ...詳しくは環境課まで

平成24年度監査

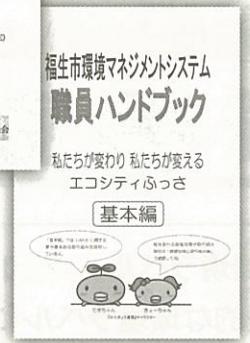
ラス・イー
LAS-E

第2ステージ・第1ステップ合格!

監査対象：市役所33部署、市内小中学校10部署、児童館他指定管理施設4部署、その他公民館等市有施設12部署

福生市は

一事業所として日々の業務活動が環境に与える影響を少しでも減らし、地域全体の環境保全の責任者として環境問題の解決に取り組むため、平成20年11月より環境マネジメントシステムLAS-Eを運用しています。平成21年に第1ステージに合格し、平成25年7月に第2ステージ・第1ステップに合格しました。福生市では、毎年1月にLAS-E監査が実施されます。



LAS-Eとは？

環境自治体スタンダード (Local Authority's Standard in Environment) の英文略称です。LAS-Eは、自治体が行っている環境配慮や環境政策が「環境自治体」としてふさわしいかどうかを判断するための基準で、自治体専用の規格です。最大の特長は、目標の設定や監査に市民や事業者などが参加するという点にあります。

みなさんの取り組みが実りました!! 平成24年度監査で評価された一例の紹介

福生第一中学校

玄関の花台(紙製)、ランチルームの下足棚(図書室の廃棄書棚)、熊手置台(廃材)等廃物利用のすばらしい手作り作品があります。用務員さんが作製されましたが、この学校では全職員がエコの取り組みに熱心です。



廃材から花台を制作

子育て支援課

医療証のわずかな余白に目をつけ名刺サイズのメモ用紙として利用されています。紙削減の難しい取り組みの中、文字のない白紙部分にまで目をつけた活動です。



余白をメモ紙として利用

これからもみなさんの工夫された取り組みをよろしくお願ひします。

私たちが変わり 私たちが変える 『エコシティふっさ』の創造

福生市はLAS-E第2ステージに合格し、今後は、今まで以上に市民の皆様との取り組みが必要になります。これからも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

規格	目的	取り組みの主体
第1ステージ	庁内事務活動における環境配慮の実施	市職員、施設管理者
第2ステージ	地域全体の環境政策の実施や事業活動における環境配慮	市職員、施設管理者、施設利用者
第3ステージ	市民・事業者やパートナーシップ組織による環境保全・創造活動の実施	市職員、施設管理者、施設利用者、市民、事業者

福生市の環境基本方針は、福生市環境基本計画（平成16年度から平成35年度までの20年計画）に記載されている基本目標と将来像、私たちが変わり私たちが変える『エコシティふっさ』の創造に向けた取り組みです。具体的には、福生市環境基本計画中期実施計画で進められています。環境基本計画中期実施計画の進捗状況や各部門での環境配慮活動の実施状況をLAS-EのPDCA※のしくみを使ってチェックし、『環境自治体』としてのレベルアップを目指します。

※P:Plan(計画)、D:Do(実行)、C:Check(点検・評価)、A:Action(見直し・改善)

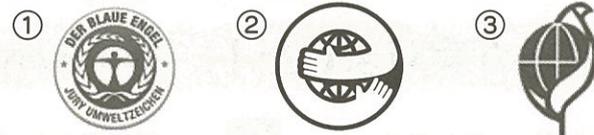
<http://www.city.fussa.tokyo.jp/life/environment/warming/m1cpmb000001suh9.html>



TAMA博士といっしょにおぼえよう! 環境豆知識



みんなは「環境ラベル」って知ってるかな？
日本の代表的な環境ラベル「エコマーク」はどれでしょうか。



TAMA博士から

環境について正しい情報を世界中のみんなに伝えるためにISO（国際標準化機構）というところで「環境ラベルの規格」を作ったよ。みんながわかる同じ規則を作って、環境に良い製品にだけつけられる印が「環境ラベル」だよ。

こたえ ②エコマーク

エコマークは、地球（Earth）と環境（Environment）の頭文字「e」を表す人間の手の形を組み合わせデザインしたもので、「私たちの手で地球を、環境を守ろう」という気持ちを表しているよ。

ちなみに、①はドイツの「環境ラベル」で、名前はブルーエンジェル。③は台湾の「環境ラベル」で、名前はグリーンマークだよ。世界には、いろいろな形、名前がつけられた「環境ラベル」があるから調べてみよう！ 次回のクイズもお楽しみに！

ふっさエコピープルを 目指そう！ 環境学習講座開催

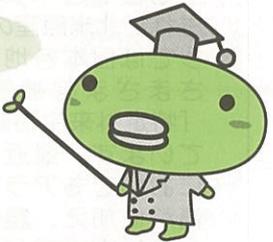
市民の環境への意識の醸成とeco検定に向けた学習を目的に、平成25年9月から11月にかけて環境学習講座(全5回)が開催され、講座終了後はeco検定にチャレンジしました。

人間の活動などによりもたらされる環境問題にはどんなものがあるのか？環境汚染の原因や、人間や生態系、地球環境に与える影響についての学習をはじめ、個々の環境問題の対策、今後の課題など学ぶことができました。

環境学習講座は、環境問題と社会・経済・企業の関係、環境問題と私たちの暮らしとの関係など広範囲にわたる内容でした。

子育て世代の皆さんにも今後学んでいただきたい学習内容です。

- 講師：山本 忠氏（経営士・環境カウンセラー）
- 主催：福生スクラム・マイナス50%協議会（事務局：福生市環境課）



eco検定(環境社会検定試験)とは

「環境に関する幅広い知識をもとに、環境問題に積極的に取り組む“人づくり”と環境と経済を両立させた“持続可能な社会づくり”」に向けて商工会議所が主催する検定です。eco検定合格者を「エコピープル」と呼び、2006年の創設以来約15万人がエコピープルとなっています。

<http://www.kentei.org/eco/>

～いま、私にできること～ 環境学習講座参加者 高森 千夜子さん

昨年の6月に市民環境大学「ふっさECOカフェ」に参加し、ダイズを植えて育てる…ということからダイズのおいしさを教わり、それから「ECO」に興味を持ち始めました。環境学習講座を受講し、講師の魅力的な講義から「まだまだ勉強をしたい」と思う気持ちがふつふつと湧いてきました。eco検定試験に挑戦しないかとのお誘いを受け、思わず年を忘れ、ついに昨年12月にeco検定の受験することとなりました。



思えば若い時に、北アルプスの槍ヶ岳に登ってみようかと誘われて、「できない」と言った時に、友達が「自分のペースで登れば大丈夫、例えば普通の人だと2日で登るところを3日かけてやれば」との甘さやききに乗って登頂したことを思い出しました。

それと検定と何の関係が、と思われるのですが、講座で「ハチドリの一とせずく いま、私にできること」（辻信一監修光文社刊）という南米アンデス地方に住むキチュアという先住民に語り継がれてきた「クリキンディ」の物語を教えていただき、今を大切に私のできることをするのですが、それが、「私たちの住む地球をそのまま青く残すこと」ではないかと大きな希望を持ちeco検定に挑戦しました。結果はいかに…これが私の70歳の挑戦です。

電気自動車用急速充電器は 有料になりました

【料金】1回（最大30分）500円
【利用可能時間】24時間



市役所南側車寄せに設置している電気自動車用急速充電器の利用は、平成25年10月1日から有料になりました。電気自動車の普及に向けたインフラ整備の一環での無料開放でしたが、受益者負担による有料化となりました。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問合せ】環境課環境係 ☎551-1718